

2023年10月15日
10月第三主日礼拝式



「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

80 ほめたたえよ

ほめたたえよ 新しい歌で
ほめたたえよ 朝に夕に
義なる主に向かい 力ある限り
義なる主に向かい 力ある限り
ほめたたえよ 新しい歌で
ほめたたえよ 朝に夕に

新聖歌311番 「いかに恐るべき」

1 いかに恐るべき ことありとも

御翼(みつばさ)のかげは 安らかなり

* 愛の神は いかなる時にも

頼るなが身 保護したまわん

2 骨折り疲れて 沈(しず)むときも

道に危(あや)うきの ひそむ時も 【*】

3 必要ことごと 備えられて

願いごとすべて 受け入れられん 【*】

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌361番 「栄えの王にます主の」

- 1 栄えの王にます主の 御言葉に堅(かた)く立ちて
「神にはみ栄えあれ」と 高く歌い叫ばん
* 立て立て 永遠(とわ)に変わらぬ御言葉を
信じ立て 神の御言葉に立て
- 2 世(よ)は変わるとも変わらぬ 御言葉に堅く立ちて
まどい恐れ of 嵐に 心はみだされじ 【*】
- 3 全(また)く罪をきよめんと of 御言葉に堅く立ちて
血のちしおを受けしに 自由の身となれり 【*】
- 4 愛もて主に結びつき 御言葉に堅く立ちて
悪魔に向かえばつねに 勝ちえてあまりあり 【*】

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン